

材料選定の考え

私はくさび状欠損の修復にフロアブルレジンを多用しています。ペーストレジンに比較し修復時のマージンを合わせやすいことだけでなく、形態付与も容易になると感じています。使用するフロアブルレジン、窩洞への「ぬれ」がよくなるための流れやすさが必要である一方、窩洞の外に流れ出てしまわない流れにくさが必要です。加えて、充填後に形態修正が最小限で済むような充填後の表面の滑らかさも重要視しています。



泉 英之 先生

[略歴]
2000年 日本大学松戸歯学部卒業
2000年 日本大学松戸歯学部
 歯科補綴学第三講座
2004年 西本歯科医院
[所属学会]
日本自家歯牙移植・外傷歯学研究会
国際外傷歯学会、米国歯内療法学会
米国歯周病学会

1 術前



4歯頭部にう蝕をとまなくさび状欠損を認める。

2 う蝕除去、形成



浸潤麻酔後、歯肉圧排を行い、う蝕除去を行う。

3 アドヒーズブ塗布



スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーズブを塗布し、エアー乾燥、光照射を行う。
※被着面にエナメル質が多く存在する際には、セレクトイブエッチングを行う。



4 フロアブルコンポジットレジンの充填・塗布



フィルテック™ シュープリム ウルトラ フローコンポジットレジン进行充填。

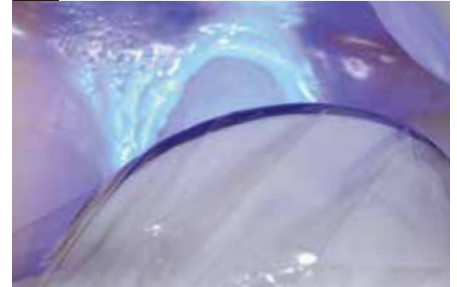


5 形態修正



重合前に探針にて形態修正。

6 光照射



各方向から十分に光照射。

7 形態修正



スーパーファインのバーでわずかに形態を修正する。

8 研磨



シリコンポイントにて研磨・最終仕上げ。

9 術後



色調・形態ともに周囲に調和している。



スリーエム ジャパン株式会社
ヘルスケアカンパニー
歯科用製品事業部

詳しい情報は、3M 歯科用製品ホームページへ

3M 歯科

検索

<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/>

Please Recycle. Printed in Japan.
Copyright © 2016 3M. All Rights Reserved.
DEN-1329-HJ (091600.2) PN/QP

3M、ESPE、フィルテック、スコッチボンドは、
3M社またはその関連会社の商標です。

当事業部取扱製品のお問い合わせは

3M ESPE コールセンター

0120-332-329

※受付時間 / 9:00~17:00 月~金 (土・日・祝を除く)

※フリーダイヤルが繋がらない場合は、03-6409-3157をご利用ください。